

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月11日更新

事務事業名		総合健康センター施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	産業振興部	課長名	後藤 章博
	施策	2	行政改革の推進			所属課	商工振興課	担当者名	綾部 朝子
	施策の柱	12	公有財産の管理運営			所属班	商工振興班	(内線)	5215
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠法令	合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」条例 指定管理者協定書		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成13年7月、西合志町総合ふれあい健康センター「ユーパレス弁天」が開館。(管理運営業務を側にしごうしに委託) 地方自治法改正に伴い、管理委託制度から指定管理者制度に移行し、第1回目の指定管理者協定を側にしごうしと平成18年8月～平成21年9月の期間で締結した。 ○合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の管理運営業務についての助言及び経営状況確認 ○指定管理者協定に基づく、合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」の施設維持管理事業 ○現指定管理期間は、平成21年10月～平成24年3月であり、平成23年度に指定管理者更新を行い、引き続き側にしごうしを平成24年4月から平成26年3月までの2年間、指定管理者として指定した。 ○平成23年度に「大規模改修検討委員会」を開催し、開館後10年経過し老朽化が著しい施設の大規模改修の内容を検討した。 ○平成24年度に「大規模改修検討委員会」の審議に基づき、改修設計委託業務を行った。 ○平成25年度に大規模改修工事を行った。また、指定管理者選定を行い平成30年度までの新たな管理者を指定した。 ○平成26年度から、新たな指定管理者による運営が行われた。(平成30年度まで) ○平成31年春に北熊本スマートインターチェンジの開通見込みであったことから、設備と特定天井の大規模改修を1年先に延ばし、平成31(令和元)年度は昨年度までの指定管理者に運営させることになった(12月議会上程)。 ○令和元年度は、令和2～5年度(4年間)の公募により指定管理者選定を行うとともに、施設の保全計画・改修計画策定を行った。 ○令和2年度は、特定天井の耐震化工事及び温泉熱設備導入工事を行う。 ○令和4年度より、業務委託による直営での運営を実施。
【業務の流れ】	○施設の運営および維持管理を業務委託により実施。 ○必要な消耗品および施設等の修繕の実施。
【主な予算費目】	○委託料、人件費、消耗品費、施設修繕費、工事請負費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	老朽化による故障や不良により、利用者へ不便をかける頻度が増加している。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

① 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
毎月の運営会議へ出席し、委託業務内容の精査後、委託料の支払い 各種経費(光熱水費等)の支払い 職員(会計年度任用職員)の人事庶務、施設修繕に関する業務、その他、維持管理・運営に係る業務全般を行った。	指定管理業者の撤退により、新たに、指定管理者の公募を行うと同時に指定管理者の決定までは、包括的業務委託もしくは直営での施設運営を行っていく。 保全計画に基づき必要箇所の修繕工事を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 修理箇所	件	屋根・外壁の大規模改修にかかる工事請負費の増
イ: 修理等金額	千円	内部改修等工事設計にかかると委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」施設利用者	ア: 来館者	千人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
利便性・安全性を確保する	ア: 修理済箇所数/要修理箇所数	%
	イ: 苦情・要望の対応件数/苦情・要望の総数	%
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
利便性・安全性の確保につながる施設修理済箇所数の割合及びお客からの苦情・要望対応件数割合とした。施設大規模改修工事が終了すれば、施設の要修繕箇所はなくなる。また、お客の苦情や要望等で施設の老朽化に伴うものに対応できるため、平成25年度からは、施設修理済み箇所割合は100%、苦情・要望の対応件数割合は80%と設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件	7	4	4	25	4	4	4	4
	イ 千円	213,008	9,601	36,000	11,517	36,000	36,000	36,000	36,000
② 対象指標	ア 千人	188	338	530	371	530	530	530	530
	イ								
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ %	100	100	80	100	80	80	80	80
投資入費量	国庫支出金	千円	51,543						
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円	76,700		2,500	126,900			
	その他	千円	39,722	1,000	84,077	106,110	84,077	84,077	84,077
	繰入金	千円	50,000						
	一般財源	千円	35,701	68,581	157,475	116,464	187,345	157,475	157,475
	(A) 事業費計	千円	253,666	69,581	241,552	225,074	416,635	241,552	241,552
(A)のうち指定経費	千円	30	30	35	35	35	0	0	0
(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	3	1	3	0	0
	延べ業務時間	時間	800	640	0	800	0	0	0
	(B)人件費計	千円	3,154	2,502	0	3,044	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	256,820	72,083	241,552	228,118	416,635	241,552	241,552

事務事業名	総合健康センター施設維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 適切に改修工事を実施し、対応したため。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 施設の老朽化が進んでいるが、点検を徹底し、改修の必要性がある部分を洗い出し、計画的に改修を実施することで、適切な維持管理を行なうことができる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 施設の老朽化に伴い、今後施設の維持管理上の修繕要望は予想されるため向上の余地はある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 当該施設における多くの機械設備が更新時期を迎えている中、省エネルギー化を図る等、経常費の削減に取組む余地はある。施設の運営管理についても、再度指定管理者制度にすべく、運営の在り方について検討する必要がある。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 指定管理制度に戻るまでは、必要最低限の人員であり、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用者は、サービスの対価として利用料金を支払うが、施設の維持管理費にあわせ、料金の見直し（値上げ）も検討するべきである。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の施設であるため、その施設の維持管理は当然行政が行なわねばならない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

業務委託業者と連携を取りながら、改修箇所の確認と改修工事を行い、適切な施設管理を行なうことができた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					